



おしっこの悩みを持つ方へ

症状について

排尿（おしっこ）の悩みは大きくわけて2つあります。

排尿障害 …… 尿が出にくい、尿がつまる

蓄尿障害 …… 尿が近い、尿がこぼれる

症状は重なることもあるため、まず診断が大切です。それぞれの代表的な疾患である、前立腺肥大症と過活動膀胱について説明します。

代表的な疾患

前立腺肥大症

排尿障害。
 男性のみ。
 50歳以上で増加し、
 がんとの鑑別が重要。

診察

症状スコア記載
 エコー、PSA検査（採血）
 がんとの鑑別（MRI撮影）

治療方法

アルファブロッカー
 前立腺の過剰な収縮を抑制

PDE-5 阻害薬
 血流の改善

5α-リダクターゼ阻害薬
 前立腺を縮小

手術方法

内視鏡手術（TUR-P）
 尿道から前立腺を削り
 取る・くり抜く

過活動膀胱

蓄尿障害。
 男女ともにみられる。
 頻尿と尿意切迫感（我慢できない尿意）が症状。

診察

症状スコア記載
 エコー、検尿
 他の疾患を否定

治療方法

行動療法
 適量の水分摂取など

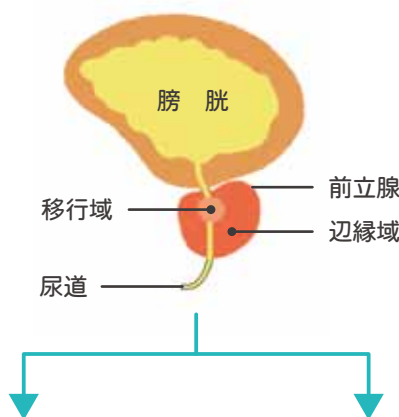
抗コリン剤
 膀胱の異常な収縮を抑制

β3 作動薬
 膀胱の筋肉をゆるめる



前立腺肥大症と前立腺がんの違い

正常前立腺



前立腺肥大症



移行域が肥大し
 尿道を圧迫

前立腺がん



主に辺縁域から
 がん発生

前立腺肥大症は尿道を圧迫するので、早めに排尿困難や頻尿、残尿感などの症状が出やすいです。しかし、前立腺がんは辺縁域から発生するため、症状が出にくい、進行してから症状が出るということが問題です。そのため、PSA検査による発見が大切です。

前立腺肥大症の内視鏡手術

先端に電気メスがついた内視鏡を尿道に挿入して、前立腺を尿道から削り取る手術です。腰椎麻酔（下半身麻酔）でおこなうのが一般的で、手術が終わっても3～4日間は尿道カテーテルを入れておきます。全部で7～10日程度の入院が必要となります。